

日刊 日本金属通信

2015年(平成27年) 2月19日(木曜日)

株式会社 日本金属通信社

大阪本社 大阪市西区江戸堀1-19-23
☎06(6443)6891 FAX(6441)1990
振替口座 00980-5-51104
東京本社 東京都中央区八丁堀3-23-3
☎03(6222)0331 FAX(6222)7226
振替口座 00190-7-17081
中部通信部 愛知県豊田市東新町3-31-2
☎090(6929)8875

web <http://www.nikkintsu.co.jp/>

購読料(前金)6ヵ月46,800円 1年88,000円(税別)

禁:無断転載・コピー・FAX・メール転送・翻訳

「BH最大手の桂スチール、繁忙続く」

設備増強、売上120億円へ

受注8万5000ト・シェア35%目指す

(姫路)国内最大のBH製作者である桂スチール(本社兵庫県姫路市、三木桂吾社長)は今期(15年9月期)売上高120億円を目指す。前期(14年9月期)実績は、繁忙が続く売上高100億円を達成、前々期は売上高70億円を達成した。今期は単価が15%上昇している。また、加工賃も昨年からトンあたり3万円程度と改善されており、同社の収益基盤を確かなものとしている。

ビルドHの全体需要は全国で約25-30万トといわれており、同社はそのうち、8万5千トを今期の目標数量としている。シェア換算すると、約35%だ。前期実績は約6万ト。設備更新、増設を進めている岡山工場と、昨年増強が完了した玉野工場をフル活用して、今期の目標達成を目指す。

同社の岡山工場では第1-第3工場の設備更新・増設がかねてより進められており、先月には第3工場に梁加工用の自動溶接ロボット2基を増設、同工場だけで5基体制とした。来月には第3工場のNC溶断機1基と第1工場のフレームプレーナー1基が更新される。更新完了は8月を目標としている。一方、玉野工場については昨年に第二工場と第一工場D棟を建設、9月20日に稼働を開始している。同第二工場にはプラズマ溶断機1基を導入し、切板の加工能力を従来比25%増の月産1500トに引き上げた。D棟はBHの板継ぎ用に建設したもの。同棟にはバット熔接を行う自動溶接機4機を新設。これにより、玉野地区の工場は整備が完了した。

同社の売上の構成比率は関東向けが50%、名古屋向けが20%、大阪向けが20%、その他地域が10%となっている。北は北海道、南は沖縄までまんべんなく営業体制を強固なものとし、特に、昨今旺盛な関東物件向け需要を最大限に捕捉することで、今期の目標達成を目指す。

(業)

日本金属通信

2015年(平成27年) 2月19日(木曜日)

株式会社 日本金属通信社

大阪本社 大阪市西区江戸堀1-19-23

☎06(6443)6891 FAX(6441)1990

振替口座 00980-5-51104

東京本社 東京都中央区八丁堀3-23-3

☎03(6222)0331 FAX(6222)7226

振替口座 00190-7-17081

中部通信部 愛知県豊田市東新町3-31-2

☎090(6929)8875

w e b <http://www.nikkintsu.co.jp/>

購読料(前金)6カ月46,800円 1年88,000円(税別)

禁:無断転載・コピー・FAX・メール転送・翻訳

BH最大手の桂スチール、繁忙続く

設備増強、売上120億円へ

受注8万5000ト・シェア35%目指す

(姫路) 国内最大のBH製作者である桂スチール(本社||兵庫県姫路市、三木桂吾社長)は今期(15年9月期)売上高120億円を目指す。前期(14年9月期)実績は、繁忙が続く売上高100億円を達成、前々期は売上高70億円を達成した。今期は単価が15%上昇している。また、加工賃も昨年からトンあたり3万円程度と改善されており、同社の収益基盤を確かなものとしている。

ビルドHの全体需要は全国で約25~30万トといわれており、同社はそのうち、8万5千トを今期の目標数量としている。シェア換算すると、約35%だ。前期実績は約6万ト。設備更新、増設を進めている岡山工場と、昨年増強が完了した玉野工場をフル活用して、今期の目標達成を目指す。

同社の岡山工場では第1~第3工場の設備更新・増設がかねてより進められており、先月には第3工場に梁加工用の自動溶接ロボット2基を増設、同工場だけで5基体制とした。来月には第3工場のNC溶断機1基と第1工場のフレームプレーナー1基が更新される。更新完了は8月を目標としている。一方、玉野工場については昨年に第二工場と第一工場D棟を建設、9月20日に稼働を開始している。同第二工場にはプラズマ溶断機1基を導入し、切板の加工能力を従来比25%増の月産1500トに引き上げた。D棟はBHの板継ぎ用に建設したもの。同棟にはバット熔接を行う自動溶接機4機を新設。これにより、玉野地区の工場は整備が完了した。

同社の売上の構成比率は関東向けが50%、名古屋向けが20%、大阪向けが20%、その他地域が10%となっている。北は北海道、南は沖縄までまんべんなく営業体制を強固なものとし、特に、昨今旺盛な関東物件向け需要を最大限に捕捉することで、今期の目標達成を目指す。

(業)